

### 利用料軽減実証事業補正予算案（令和 7 年 6 月議会）

#### 提案の概要

市議会 3 月定例会での議論を踏まえ、4 月 16 日に鶴岡市こどもの遊び場に関する協議会を開催した。

こどもの遊び場利用料の軽減に向けては、遊びに関連する地域資源をリストアップし、対象となる施設を公募・選定する仕組みの構築が必要と考えている。一方で、事業の実施が遅れることにより、成長していくこどもが取り残されることのないようにする必要がある。

令和 7 年度は、8 年度以降の公募の仕組みの構築に向けた実証事業として、屋内の 3 施設の利用料を軽減するとともに、遊び場についてのアンケート・ヒアリング等の調査を行い、今後の検討のための基礎資料とする。

#### 予算額（案）

35,850 千円

内訳：軽減額（補助金） 34,540 千円

事務費（郵送料、受付用パソコン賃借料 等） 1,310 千円

#### 対象施設

キッズドームソライ、小堅ランド、スパール

#### 内容 利用料

0 歳～小学生：無料、付添いの保護者：1 名無料

#### 実施時期

令和 7 年 8 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

#### 軽減方法

3 施設を無料利用できる共通パスポート「遊び場利用パスポート」を配付

#### 想定利用人数

延べ 54,400 人（こども 34,700 人、大人 19,700 人）

## 議会での意見を受けて市の対応

市議会の採決の前日に開かれた予算特別委員会において、実証事業案の内容について指摘を受けたことを踏まえ、同日、その指摘を可能な限り取り入れ、対応していく考えを示した。

〔主な対応案〕

- ・ パスポート方式から**5,000円**分のクーポン方式に変更する。
- ・ 対象施設は提案の**3施設**に加え、公募・選定を行った後に実証事業を開始する。
- ・ 実証事業の実施期間は、令和**7年9月**から令和**7年12月**までとする。
- ・ 遊びに本気宣言！を踏まえた「遊び場整備構想」を年度内に策定する。

## 議会での審議結果

令和7年度補正予算案から利用料軽減実証事業を削除する修正案が議員から提出され、審議の結果、本事業の削除について賛成多数で可決された。（修正案に賛成**14人**、反対**10人**）

= こどもの遊び場利用料軽減実証事業に係る補正予算案は認められなかった。

## 今後の対応

議会審議を通じ、民間事業者との連携や受益者負担のあり方、財源を含めた持続可能な制度設計など、多様な視点から多くの意見が出された。まずはその分析を行うとともに、遊び場整備構想を策定する中で、令和8年度からの開始を目指し、利用料軽減の手法や公募を含めた対象施設の選定方法などについて検討を進める。